



第十番札所 東福寺

日時：2017年3月19日（日） 集合：JR東神奈川駅10:00

コース：①東神奈川駅→②蓮法寺→③岸谷公園→④第十番札所東福寺→⑤白幡神社→⑥第十一番札所松蔭寺
→⑦白山神社→⑧東横線大倉山駅 24,000歩 17km 27,000歩（伊藤自宅含む）

参加者：平山L・森山SL 含め33名（一般久木田1名含む）

【A班】熊坂班長・勅使河原・仲・青松秀・内田絵・河野・森川・落合・平林勝・青松美・山田 11名

【B班】斎藤優班長・平嶋・森山SL・伊藤真・平山L・清水正・井内・山川・桑原・賀上・駒村 11名

【C班】市村班長・五十嵐志・五十嵐し・奈良・小林・長井・宮野・桑名・武倉・松田・久木田 11名

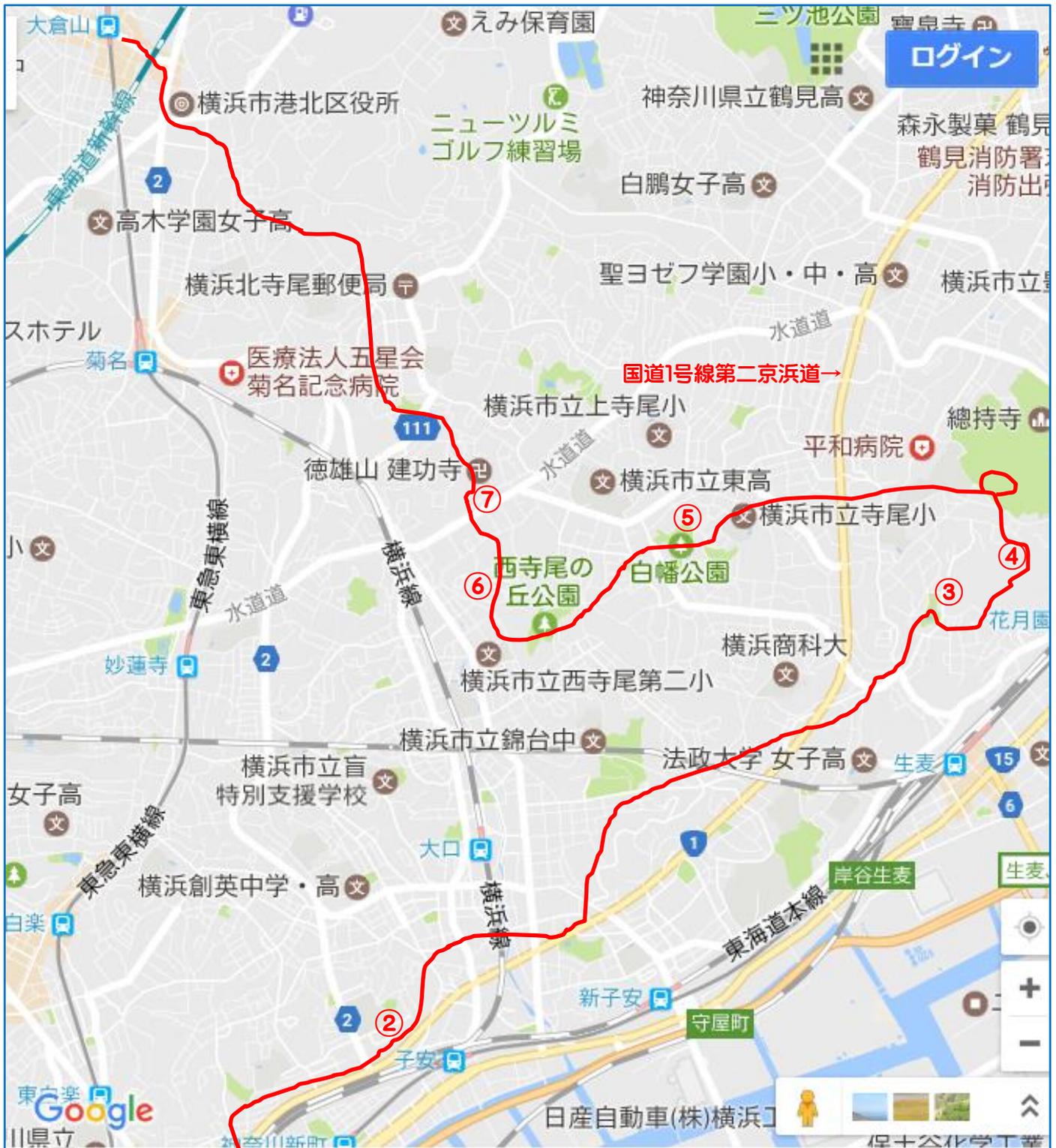
天候：晴れ

前回パート②は1月22日（日）、相鉄西谷駅スタートし、5番正観寺、6番随流寺、7番本覚寺、8番宗興寺、9番慶運寺、JR東神奈川駅ゴール、36名の参加でした。2月22（水）7名で下見され、29,000歩、20kmと距離も長く、平山L再度1人で下見をされコースを短縮されたようです。街中歩きですが、丘の登り下りが数ヶ所あるところで、眺めの良い高台もあり、好天に恵まれた初春のウォーキングでした。菊池さんの下見レポートと重複しますが、出来る丈参加者の写真を入れるよう努力しましたが悪しからず。

次回は5月17日（水）の予定です。

【コースマップ】 ルート赤線は概略ですので悪しからず。詳しくは平山Lから戴いたA3地図を参照下さい。

① 東神奈川駅→②蓮法寺→③岸谷公園→④第十番札所東福寺→⑤白幡神社→⑥第十一番札所松蔭寺→⑦白山神社→⑧東横線大倉山駅



今日の旧小机領三十三観音巡り

第10番	子生山 東福寺	真言宗智山派	如意輪観世音	横浜市鶴見区鶴見1-3-5	045-581-5066
第11番	仙鶴山 松蔭寺	臨濟宗建長寺派	十一面観世音	横浜市鶴見区東寺尾1-18-1	045-571-1701

東神奈川駅から、浦島伝説の地名浦島・亀住町、子安・大豆戸など珍しい町名の所を、出来るだけ車の少ない裏道小路を選定されてのウォーキングでした。A3の大きな地図を戴きました、詳しくはこちらで確認して下さい。町名が入っています。

【JR東神奈川駅】平山L、森山SLお迎え、資料配布お手伝い山川さん。京急「仲木戸駅」との中間に「なかつく広場」がありここで待ち合わせ。KWC事務所のある駅でよく来るがこの広場は初めて。



花壇の周りに腰掛、待ち合わせ場所には最高です。

「ザ・ステーションタワー東神奈川」



9:45 早い全員揃いで出発。近くの「富家町公園」で平山Lコース説明と注意事項、班編成・班長紹介

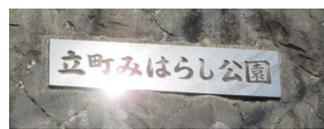


熊坂班長によるストレッチ



平山しこの地域に詳しい仲さん先頭で、長蛇の列。

「立町みはらし公園」青空と横浜みなどみらい



10:30 今日は17℃予報でした、

早や上着を脱ぐ人殆んど。

歩道橋を渡る



【本照山・蓮法寺】日蓮宗 浦島伝説の観福寿寺があった所

それらしき古いお墓や石塔



横浜市神奈川区にも伝わる浦島太郎伝説は、観福寿寺に伝えられていた縁起書に由来すると考えられますが、同寺は慶応四年（一八六八）に焼失したため、縁起の詳細については確認できません。しかし、『江戸名所図会』『金川砂子』などの文献には縁起に関する記述がみられます。

それによると、相州三浦の住人浦島太郎が丹後国（現在の京都府北部）に移住した後、太郎が生まれた。太郎が二〇歳余りの頃、澄の江の浦から龍宮にいたり、そこで暮らすこととなった。三年の後、澄の江の浦へ帰ってみると、里人に知る人もなく、やむなく本国の相州へ下り父母を訪ねたところ、三百年前に死んでおり、武蔵国白幡の峯に葬られたことを知る。これに落胆した太郎は、神奈川の浜辺より亀に乗って龍宮へ戻り、再び帰ることはなかった。そこで人々は神体をつくり浦島大明神として祀った、という内容です。

この浦島伝説が伝わっていた観福寿寺の資料は、同寺とゆかりの深い慶運寺（神奈川区神奈川本町一八番地二）と、大正末期に観福寿寺が所在した地に移転してきた蓮法寺（本寺）に残されています。

蓮法寺の供養塔三基は、若干の欠損と近年にいったって手の入った形跡が認められますが、浦島伝説を今日に伝えるものです。



1710年足柄群荻窪村に創建。明治44年当地に移転、ここには観福寺（真言宗）があり浦島伝説が残されている。観福寺は九番札所慶運寺と合併。

綺麗に波形模様をつけ手入れされている庭



裏庭には墓や石像が沢山ありましたが、浦志太郎の墓は？ 亀？



お墓と石像が沢山あるが名札表示なくよく判らない。



「そうてつローゼン」トイレを借りる1つしか無いようで時間つぶしに、安い果物を見ながら待つ。子安商店街



11:40 「西寺尾^{かぶらや}蕪谷公園」で休憩



急な階段を下りる



住宅裏通りを歩く





ここもトイレが1つでした 昼食タイム延長 但し背もたれ付きベンチ多数あり、最高です。



【第十番札所 子生山 東福寺】真言宗智山派 子授け・子育ての靈感



<葬頭河童伝説>は説明書

子育て観音

本堂前で集合写真 (P1巻頭の写真)



疣取（いぼとり）地蔵尊



山門の仁王像



隣接する競輪場跡地開発中



「総持寺」に立ち寄り、裕次郎墓通過、トイレ休憩 桃が満開。



寒緋桜にメジロ



二反田交差点で国道1号線を渡る



緩やかな登り道



登りは続きますが、熟男組も頑張っています



寺尾小学校前を通ります 彼岸桜か？



【白幡公園にある白幡神社】到着 14:05



15,000歩

足利尊氏を祭神とする



神楽殿がある



今日はすべての社寺に参拝しました

【第十一番札所松陰寺】臨済宗建長寺派 1334年 建長寺第三十世 仏寿禅師 十一面観音



写真に撮りたくなる木造仁王様



←立派な山門と松↓



庭木が素晴らしい「タラヨウ」



立派な鐘楼 松陰寺を出ると「せせらぎ緑道」があり以前歩いたことがある。**【徳雄山建功寺】** 1560年
曹洞宗、大州長譽大和尚開祖、諏訪三河五代目寺尾城主右馬之助開基



15:00 18,000歩 入口「一会の杜」事務所は鉄筋 本堂は現在建設中で、この石段↓の上にある。



建設中の本堂（木造）

白山神社

立派な鐘楼

仮の御堂



森山SLの説明は？



4月8日8（土）「花まつりフェスタ」のチラシを配布されました。皆さん相当お疲れのご様子です。16,000歩
大倉山駅近くの「大豆戸公園」でストレッチを
やります。後少しですよ！

本堂上から見下ろす。 最後の追い込みウォーキングですが、ここも登りです！元気に頑張っていますね！



「大豆戸堀土第三公園」

熊坂さんによるクールダウン・・・深く曲げ伸ばしていますね！

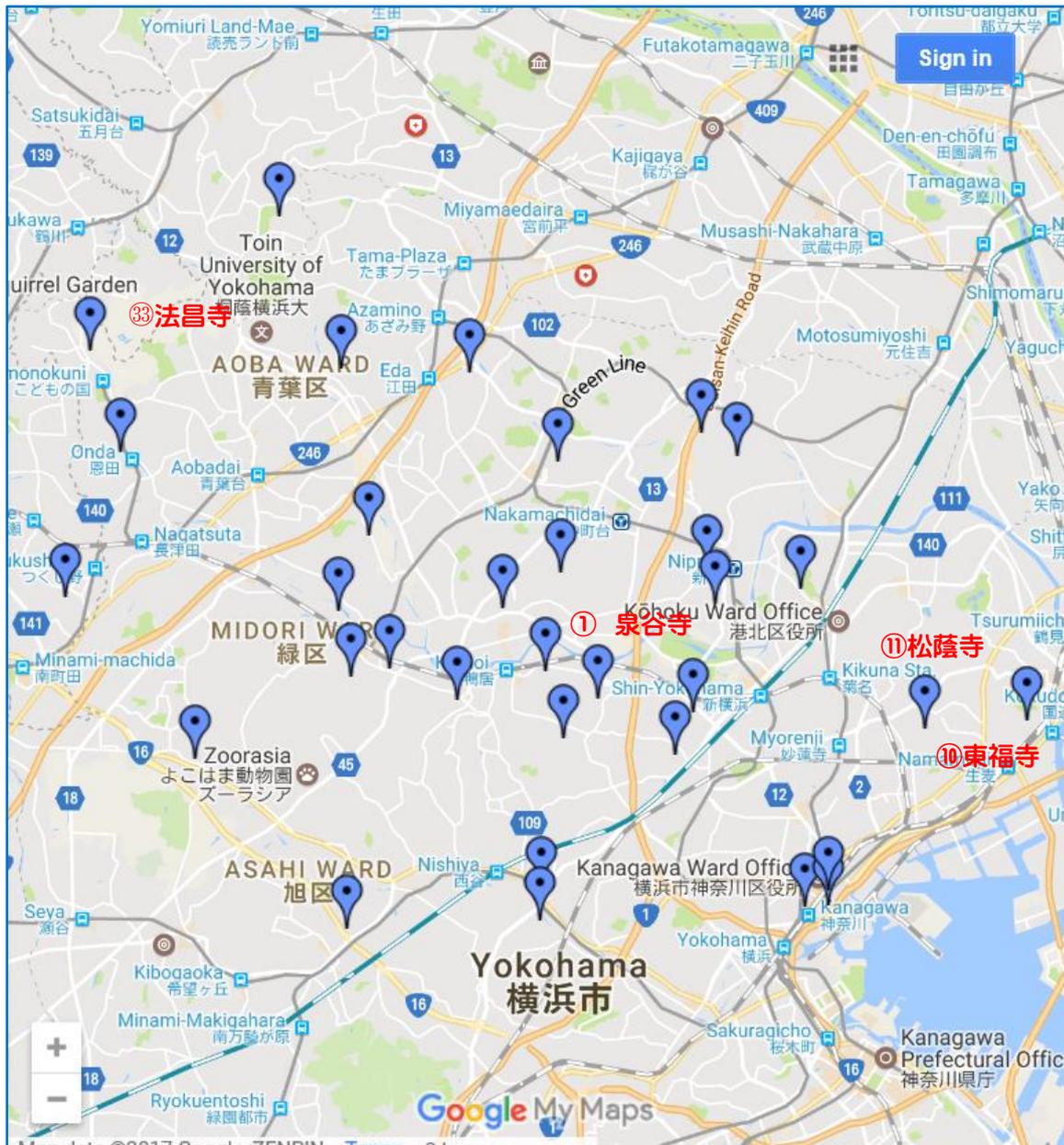


平山L「大倉山駅」まであと少しです、歩数は駅で確認します。



しばらく歩くと、綱島街道に出て横断し、新幹線ガードを潜ると、「大倉山駅」です。交差点でアフター「中華屋：味香園」を見つけ17時開店を16:00からに交渉結果OK。丸テーブル8名、角テーブル4名、合計12名で平山L、森山SL企画、下見、資料準備に感謝の意も込めて、そして少々頑張りがすぎた？我が身にもご褒美に乾杯！特に平山Lには下見時29,000歩を短縮するべく、お一人で再チエク下見をされ、5,000歩圧縮されたご苦労に重ねて深く感謝いたします。

編集後記：パート③ですが、小生は②から参加しています。三十三観音の分布図を見ますと横浜市北区小机一番「泉谷寺」を中心に北は川崎市王禅寺の二十二番「王禅寺」、最終三十三番「法昌寺」は町田市に近いところまで、ぐるりと歩きます。平山Lから既にお話があったかと思いますが、小生の学習も含め参考までに「番外編」P11に添付しました。今日のコースは街中とはいえ海拔5～6mの海岸地帯から、50～60mの丘、それを数回アップ、ダウンするので小生の足にも相当こたえたのではないかと思います。大体社寺は小高い見晴らしがよく、修行も含め、靈感があり墓地にも適している所に有ります。しかし平山Lの配慮で休憩所を沢山設けられて、ウォーキング中はそれほど疲れを感じませんでしたが・・・いつものポケ防止用の日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが、悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。



【曹洞宗大本山総持寺：萬燈の夕べ】 2015年10月17日(土) 二祖 峨山韶頌(大現宗猷國師) 650回大遠忌に合わせて萬燈 子供にはワークショップ(ひかりの実を作って飾り付ける)

今日行った建功寺も「除夜の萬燈」をやっているようです。曹洞宗建功寺の現第18世 耕野俊明は庭園デザイナーで、多摩美術大学環境デザイン学科教授でもある関係で、萬燈の芸術的飾りは多摩美大の学生も応援しているようです。建功寺で戴いたチラシを見るとダンスや楽器演奏もあるようです。(郷里山口で親父は曹洞宗寺院の総代をしていた関係で、永平寺には数回同伴しました。3女が鶴見区にいる関係で、孫の小学校からのチラシで総持寺に行き、この時永平寺からも数人の坊さんが来ており、永平寺儀介と義演の争い三代相論以降はいろいろありましたが、現在は総持寺



との関係は良好とのお話をお聴きました。萬燈は素晴らしい芸術でした。お孫さんを連れて見ると喜びます。)